

No177186 ノロウイルスの評価結果(抜粋)

11. 結果

ネコカリシウイルスに対する試験結果を表 1 及び図 1 に示した。

試験に使用したウイルス濃度(感染価)は $10^{8.5}$ TCID₅₀/0.1mL であった。

対照区では試験開始時から開始後 8 時間までの間に若干のウイルス濃度の減少がみられた($10^{7.5}$ → $10^{7.1}$ TCID₅₀/0.1mL)。

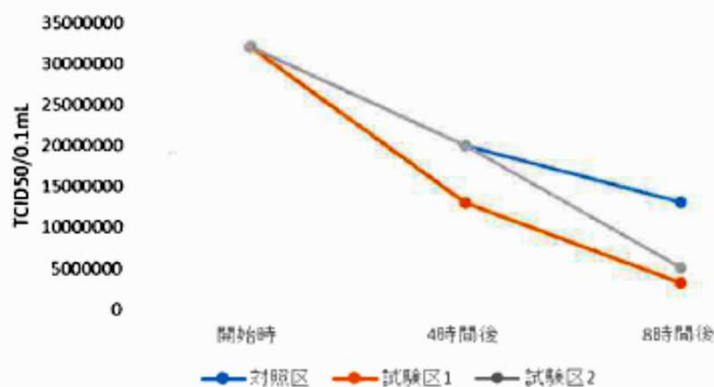
試験区 1 では、開始後 4 時間で $10^{7.1}$ TCID₅₀/0.1mL(35%減少:対照区比)、開始後 8 時間で $10^{6.5}$ TCID₅₀/0.1mL(75%減少:対照区比)、試験区 2 では、開始後 4 時間で $10^{7.3}$ TCID₅₀/0.1mL(変化なし:対照区比)、開始後 8 時間で $10^{6.7}$ TCID₅₀/0.1mL(62%減少:対照区比)となり、ウイルス濃度の減少がみられた。

表 1 ネコカリシウイルス試験結果(TCID₅₀/0.1mL)

区	試験開始時	開始後 4 時間	開始後 8 時間
対照区		$10^{7.3}$ (20000000)	$10^{7.1}$ (13000000)
試験区 1	$10^{7.5}$ (32000000)	$10^{7.1}$ (13000000)	$10^{6.5}$ (3200000)
試験区 2		$10^{7.3}$ (20000000)	$10^{6.7}$ (5000000)

試験使用ウイルス濃度: $10^{8.5}$ TCID₅₀/0.1mL

図1 ネコカリシウイルス試験結果



12. 考察

今回、試験品である CCFL 抗菌ライト庫内灯(試作品)(CCFL-SLWH(仮型式))照射による、ネコカリシウイルス(ノロウイルス代替)に対する不活化効果試験を実施した。

その結果、ネコカリシウイルスに対しては、30cm の距離では 4 時間の照射で 35%、8 時間の照射で 75%、1m の距離では 4 時間の照射では変化なく、8 時間の照射で 62%の不活化効果があることが判明した。

以上の結果から、CCFL 抗菌ライト庫内灯(試作品)による照射により、ネコカリシウイルス(ノロウイルス代替)の減少傾向が確認された。